

第21回神戸須磨ライオンズクラブ旗マック鈴木杯争奪少年野球大会大会規則

- ① この大会の競技規則は当該年度「公認野球規則」及び「全日本軟式野球連盟競技者必携・学童野球の関する事項及び下記細則」により試合を行う。大会特別規定を設け、その規定を優先とする。
- ② 試合は7回とし、85分を超えれば新しいイニングには入らない。時間制を採用する。決められた回数、時間が経過して勝敗の決しない場合は、特別ルールで勝敗を決める。
- ③ 特別ルールは、(無死満塁で打順は、監督の選択とする。尚も同点の場合は継続打順で行い決着が着く迄行う)
- ④ 6年生の決勝戦は時間に関係なく7回を優先する。7回を超えて同点の場合は、2時間以内で延長を行い最大9回までとする。それでも同点の場合は特別ルールを適用する。5年生の決勝戦は時間を優先する。時間を越えて同点の場合は特別ルールを適用する。
- ⑤ ベンチにはチーム責任者1名、監督(30番)1名、コーチ(29,28番)2名、スコアラーとし最大5名までとする。監督・コーチは、ユニフォームを着用し、それ以外はユニフォーム着用は認めない。
- ⑥ ベンチは組み合わせ番号の若い方を1塁側とする。試合会場を提供したチームは、1塁側もしくは3塁側を選択できることとする。
- ⑦ 大会試合球は連盟公認C球でナガセケンコー球を使用する。
- ⑧ バット・ヘルメットは連盟公認(JSBB)のみ使用できる。
- ⑨ 捕手は必ず連盟公認のマスク、レガース、プロテクター、ヘルメット、ファールカップを着用すること。
- ⑩ 打者、走者、ベースコーチ、次打者は、必ずヘルメットを着用すること。
- ⑪ 監督、コーチは時間短縮のためタイムを求め、主審が認めたときは、選手に指示を与える。選手交代も同様に時間短縮につとめなければならない。
なお、抗議できるのは監督のみとする。但しルールの確認行為のみとする。どんな理由があろうと相手チームのプレイヤー及び審判員に対し、悪口、暴言を禁ずる。
- ⑫ 試合におけるトラブルなどは主審または審判員の決定に従うこと。
- ⑬ その他、運営面におけるトラブル等は本部役員または担当役員の決定に従うこと。
- ⑭ グラウンドで発生した負傷は、主催者では一切のその責任は持たない。各チームで責任をもって対応すること。
- ⑮ 雨天の際の可否判断はそれぞれの担当役員から連絡するものとする。
- ⑯ 降雨、落雷等により試合を中止した場合、4回終了時で成立する。
- ⑰ 得点差によるコールドゲームを採用する。3回以上10点差、5回以上7点差とする。
- ⑱ シートノックは4分間とする。但し、1・2回戦のノックは原則なしとする。
- ⑲ チームは試合開始時間の45分前に本部席にメンバー表を提出し、先攻後攻のトスを行なう。